

令和 7年度予算見積調書

課室名：税務課
担当名：税務DX推進担当
内線：2655

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P22	税務行政のDX推進事業			一般会計	総務費	徴税費	賦課徴収費	税務システム維持管理費	
事業期間	令和 5年度～令和12年度	根拠法令				針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	9
						分野施策	0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	9-1
1 事業概要 税務業務を電子化し、紙前提の業務プロセスからの脱却を図るため、文書管理システムを構築するとともに、現在のように決められた場所や環境に縛られることなく、多様な働き方を実践できるようなテレワーク環境を構築する。 (1) 文書管理システムの構築・運用事業 746, 024千円 (2) テレワークシステムの構築・運用事業 193, 976千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 文書管理システムの構築・運用事業 746, 024千円 インターネットセグメント以外で使える文書管理システムを構築する。 令和6年度から設計を行っており、令和8年7月に稼働させる予定。 イ テレワークシステムの構築・運用事業 193, 976千円 税務基幹システムのLGWAN系への拡張、シンククライアントシステムによる情報セキュリティ確保を前提としたテレワーク実行環境の構築。 令和6年度から設計を行っており、令和8年7月に稼働させる予定。 (2) 事業計画 ア 令和6年度 基本設計 イ 令和7年度 詳細設計、構築 ウ 令和8年度 テスト、稼働 (3) 事業効果 ア 窓口業務改革により、県民や事業者の申告に要する時間が削減できる。 イ 税務業務において、ペーパーレスが推進される。 ウ 税務業務の電子化により業務の効率化が図られる。 エ 育児や介護等がある職員も柔軟な働き方が可能となり、能力が十分に発揮できる。 【活動指標（アウトプット）】 ・税務業務の電子化 ・税務業務でのテレワークの実現 【成果指標（アウトカム）】 ・県民等の窓口に要する時間約21, 000時間削減 ・ペーパーレス約390万枚 ・災害時等の業務継続					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9, 500千円×4人=38, 000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	940, 000							940, 000	396, 157
前年額	543, 843							543, 843	

事業内訳書

事業名	税務行政のDX推進事業		
単位事業名	文書管理システムの構築・運用事業	予算額	746,024千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	746,024	252,764	
合計	746,024	252,764	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	0	△185	
役務費	8,881	8,881	文書管理システム専用回線費等
委託料	737,143	244,068	文書管理システム設計・構築業務委託
合計	746,024	252,764	

単位事業名	テレワークシステムの構築・運用事業	予算額	193,976千円
-------	-------------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	193,976	143,393	
合計	193,976	143,393	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	193,976	143,393	テレワークシステム設計・構築業務委託
合計	193,976	143,393	